



みなみいづ 町議会だよい

No. 70号
2017年
平成29. 8. 15

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



弓ヶ浜海水浴場 7月25日の風景
～千客万来を願う～

6月定例会を6月13日～14日の会期で開催しました。

- | | | |
|------|-------------------|------|
| 主な内容 | ● 6月定例会 | 2～3 |
| | ● 一般質問 | 4～11 |
| | ● 議会一口メモ、くろ潮 | |
| | 学校給食試食会、未来を担う子ども達 | 12 |

平成29年度

一般会計補正予算可決

■ 一般会計 187,276千円

- 総務費 104,279千円
- 民生費 52,435千円
- 衛生費 540千円
- 農林水産業費 2,947千円
- 商工費 14,962千円
- 土木費 1,420千円
- 消防費 1千円
- 教育費 6,231千円
- 災害復旧費 4,461千円

平成29年6月議会定例会審議結果

No.	議案番号	提出議案	審議結果	渡邊哲	比野下文男	加畠毅	谷正	長田美喜彦	清水一	漆田修	齋藤要	渡邊嘉郎	横嶋隆二
1	報第1号	専決処分の報告について (南伊豆町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	報第2号	専決処分の報告について (南伊豆町個人情報保護条例の一部を改正する条例)	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	報第3号	繰越明許費繰越計算書の報告について (平成28年度南伊豆町一般会計)	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

No.	議案番号	提出議案	審議結果	渡邊哲	比野下文男	加畠毅	谷正	長田美喜彦	清水一	漆修	齋藤要	渡邊嘉郎	横嶋隆二
4	報第4号	繰越明許費繰越計算書の報告について (平成28年度南伊豆町公共下水道事業特別会計)	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第38号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第39号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (平成29年度南伊豆町一般会計補正予算(第1号))	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第40号	専決処分の報告及び承認を求めることについて (平成29年度南伊豆町一般会計補正予算(第2号))	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第41号	南伊豆町固定資産評価員の選任について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第42号	南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第43号	南伊豆町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第44号	南伊豆町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第45号	南伊豆町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第46号	南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議第47号	南伊豆町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議第48号	南伊豆町過疎地域自立促進対策に伴う固定資産税の特例措置に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	議第49号	南伊豆町クリーンセンター建設工事委託契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	議第50号	和解について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	議第51号	平成29年度南伊豆町一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 稲葉勝男は採決に加わっておりません。

一般質問

町長に聞きました



漆田 修 議員

質問 平成26年と27年度のJリメンバードの異った理由はなぜか。担当課長は地熱推進の為、常に主導的となり首長の意思に従つたと思慮されるが、その真意は。

答へたが、私は吏員で思慮されたが、その真意は。

企画課長 27年度事業は再解析であり、三井は外れる様各種の指導があつた。パ

シコン及び日本地質コンサルの2社となつた。企画課の仕事は地熱関連のみでないと認識している。

質問 大きな転換期の今、今後、追い炊き式バイナリー発電やバイオマス等々の資源開発利用に対し如何認識しているか。

企画課長 全体の規模感や経済性を加味し乍らバイオマスやバイナリーを最適組み合わせなど今後調査分析して行きたい。

質問 今後調査は継続するのか。調査委託契約に当町のペナルティ部分は存在するのか。そして当該案件に対する関係部門との調整は何にするのか。

町長 地元の宿泊関係事業者及び南野川流域に居住する人達の懸念が払拭されたわけではなく、7月の申請は見送ることにした。ペナリティ問題は発電所建設の

ステップに進んでいない現状では返還義務は生じません。関係部門との調整は依然として温泉供給業界は厳しい状況にあり、4分の3程度弓ヶ浜宿泊施設が受け皿となり今後各方面、各関

係部門との調整を重ねるべき案件は数多くあり、今は調査事業の全てから撤退するタイミングとは考えていない。

地方創生と 再生計画法



質問 人口減少と東京一極化を防止する為、地方の人ロビジョンと地方総合戦略を策定する様努力義務が課された。策定委員会で議論は如何であるか。

地方創生室長 国立社会保障人口問題研究所の人口推

計をベースに南伊豆町の行政単位を維持継続していく為に必要な規模を勘案して定めており、国のビジョンにほぼスライドしている。

質問 総合戦略に於けるC R C事業とミナミイズ温泉大学構想との差異や新型交付金の財政措置は如何。

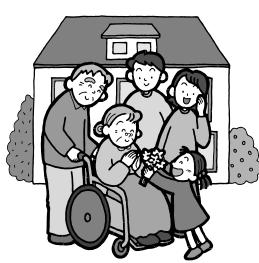
地方創生室長 サ高住の整備とお試し移住、ヘルスマッ

プステイ事業の取り組みに対し、既存施設の多世代向け住宅やサテライトオフィス、生涯学習体験活動、生涯活躍まちづくりを目的にした構想で今年度国の認定

を得て交付税措置を受けている。交付率2分の1で財政需要額への加算措置である。

質問 新型交付金の財源問題は継続するのか。又計画

当該地は津波浸水地域、且つ行政財産取得問題や生涯活躍のまち事業の制限範囲等々から、計画の再編見直しなどの考えは。



地方創生室長 今年度は採択されたが都道府県レベルでも不採択の可能性がある。平成30年以降の事業の見直し、再計画が必要となる事も想定している。今進めている生涯活躍のまち推進事業の中で、中核となる事業は生涯学習があり、多世代が交流し乍ら教え、学び合う中で推進する事がミナミイズ温泉大学構想だ。

町長の選挙公約と政治姿勢



長田美喜彦 議員

質問 公約と今後の施策はどういうに進めて行くのか。
また、町民ファーストと言つておりましたが。町民はその点を一番知りたがっていると思います。期待をしていふると思いますので、今後の町長の施策、どのように進めて行くのか。

質問 温泉と地熱に関してどのような考え方を持つているのか。また、温泉の枯渇の現状等を調べた事があるのか。

町長 地域総合整備財団が助成する地域再生マネジメントの事業の採択を受け、事業のマネジメントや人材発掘等の業務に着手し、実施に向け準備に取り組んでおり、さらに、杉並区の地域大学と連携した事業にも取り組んでおります。

A cartoon illustration of a man with dark hair, wearing a grey suit, white shirt, and tie, pointing his right index finger towards a two-story building. The building has a grey roof, light-colored walls, and several windows. The ground floor features a large glass door and a small decorative garden area.

A black and white cartoon illustration of a man with dark hair, wearing a grey suit, white shirt, and patterned tie. He has a wide-open mouth and is shouting with excitement, indicated by three black lines radiating from his head. His arms are spread wide to his sides. In front of him is a collection of food items: two cylindrical cans (one with a fish label), a box of cereal or similar cereal, a box of instant noodles, and a rectangular box with a grey lid.

質問 共立病院跡地の開発の進め方で、町長は選挙中には高齢者住宅は津波の浸水地でありますので危険である。見直ししてスポーツ施設と発言、新聞では、CRC事業は柔軟に対応して進めると言つておりますし

質問 石廊崎の再開発の件ですが、再検討するとの発言がありました。見直しはどうのように考へておられるのか。

町長 返礼品については現在、町内82事業所の皆様のご意見も伺いながら返礼品の内容や返礼割合等についても検討してまいりたい。

てから手を引くタイミングではないと考えております。特別枯渇に関して何か調査をしたということは、今までの時点ではございません。

てまいります。
選挙のときにはスポーツ施設という言葉が新聞に流れました。周りで出た言葉が新聞に載ったという事です、大変誤解を招いたことは申し訳なく思います。

質問　返礼品への総務省から
の通達、3割程度という
のが有りました。町の考
は。

ふるたと 寄附金の考え方



比野下文男 議員

選挙公約と今後の政治姿勢 広域ごみ処理計画

質問 町長は1市2町（下田市、松崎町、南伊豆町）のごみ搬入処理を議会の議論なしに推進してはダメですと主張。今年の1月に広域ごみ処理事業のインフラ整備は、実施主体である3市町の首長が喫緊の課題として今後の方針について検討された。2月に全員協にて同感ですが、下田市、南伊豆町双方共耐用年数は現在5年以上経過し、今後建設位置の決定がされるかの如く新聞報道され、地元湊区民は、住民への説明会が無いままだ建設の話が進んでいいるということは断じて許され事ではないと、町当局

建設費、運営費、財政負担、広域ごみ処理事業整備は

に抗議し、当局側は3月く4月に区役員並びに計画地の近隣住民並びに地権者への説明会を行いました。

町長は新ごみ処理施設について広域でやること自体はいい、住民の理解を得られるよう努力すると述べております。私もそれについて同感ですが、下田市、南伊豆町双方共耐用年数は現在5年以上経過し、今後建設位置の決定がされるかの如く新聞報道され、地元湊区民は、住民への説明会が無いままだ建設の話が進んでい

るということは断じて許され事ではないと、町当局

防災対策 木造住宅の 耐震化対策

質問 東日本大震災以来、各地域で、津波対策は進められているのは周知の通りです。その半面地震による家屋倒壊や家具転倒防止策など遅々と進んでいないのが現状です。本町の耐震化率は平成28年度末で62・6%と、わずか7年間で4・1%

えればこそ、この数字には非常に残念です。トップとして担当部署への意識改革をしつかり指示願いたい。

危機感は町長から町民へ

のメッセージは、一言一言が大変重く、減災への関心度が強まると思われますが、町長の考えは。



町長 首長として町民に直接訴えることは、大変関心を持たれると思います。是非、啓発活動を私に出来る

はもとより、地元住民の方々に対し原点に戻り丁寧な説明を行いながら合意形成を組んでまいり、議員の皆様はもとより、地元住民の方々に対し原点に戻り丁寧な説明を行いながら合意形成を組んでまいります。

町長 耐震改修促進計画に沿って、更なる向上に取り組んでまいります。

※停滞している本件を、早期に行動達成願う。

地域整備課長 全戸訪問回っていない。行政協力委員については検討したい。期限まで啓発活動を行つて行きます。



事は行つて行きたいです。

質問 地域整備課長へ 耐震化工事の実績は2年以上ゼロ。対象先は全戸訪問されたのか。地区行政協力員の協力を得たのか。期限まで目標達成可能なのか。



横嶋 隆二 議員

公約実現と政治姿勢

質問 町長が選挙公報で掲げた公約実現と政治姿勢について質問する。第1は、明るく活気あるまちづくり、自由にものが言える、町民の声を聞き議論する、分けてない対応というが、過去町長選挙では、町が2分3分され選挙後も軋轢が残つた。第2は、教育・文化・子育て支援について、具体的な点も含め、子育て支援の施策とまちづくりの観点について町長の考え方。

第3、産業振興地熱発電事業に対する見解。1次産業振興の体制充実についての考えは。



ておらず、一人一人が大切な町民。職員訓示で、議会ともに確かな情報共有をお願いしてある。子育て支援は、財政を健全化させるという意味でも大変重要。さまざまな支援ができると、お母様が働けるようになる。働くことによって、女性の職場でのアイデアや能力が生かされ、労働生産性が高まる。その結果税収が増え、財政に反映する流れだ。屋内用遊具の予算を計上、保育士等の意見を取り入れ整備する。こども園の園庭開放を予定。高校生医療費無料化は、県内7市町が実施。財源の確保を考え実現を検討する。バス代助成は、現在高校生の家庭負担総額が大体2、500万円。少しでも家庭の負担軽減を考える。地熱発電事業は、宿泊関係事業者等の温泉枯渇に対する懸念がある。調査・発電が、本当に地域住民、町のためになるか時間をかけてしつかり確認したい。7月の試験掘り申請を見送った。1次産業は今後重要な位置づけとなる。6次産業化移

町長 人それぞれいろいろ意見を持っており、ご意見を、議論を重ね、よりよいまちづくりを推進する。選挙で、今回も2分されたと理解をしているが、選挙で誰に入れたとか全く考え



町長 必要な資料を提出し、委員会で審議していただく。ごみ収集は、4人の従業員と車2台の運営で、適切化再検討が必要。



町長 お試し移住事業を中心、体験型観光を推進。地域おこし協力隊の隊員の移住定住相談の拠点は、役場内企画課地方創生室を広げる形で相談窓口を運営。青年就農給付金の制度で、町で携わるのは「経営開始型」。年2回の就農状況報告が義務。新規就農者へのサポート体制を構築する。

行が推進されており生産者による気次第で発展が望める産業であり、振興は重要。

ゴミ処理 広域化構想

質問 内容について議会は、2月17日の全員協議会で、A4資料1枚5、6分説明を受けたのみ、議会審議もない。前町長が、下田市の担当窓口に行くなどの異常な推進方法で言語道断。一般廃棄物収集業務も、見積り合せで安いから決めたと言ふが、予定価格の半分、本来入札不調にする案件だ。

質問 移住定住事業が、体制・予算ともに厚遇されましたが、地元雇用の確保は依然課題だ。ミナミイズ人と経済活性化推進協議会の展開。ビジターセンター、撤退後の展開。新規就農給付金事業者に犠牲者が出了、教訓と就農支援体制は。

移住定住事業の 課題・問題



渡邊 哲 議員

「デント」社に抗議文を提出させていただきました。

後「エクレシア南伊豆」の運営にどのような影響があったと考えるか。

質問 抗議文に対する回答はあったのか。

町長 反論の文書は町にきました。デリケートの部分もありますので担当から答弁させます。

新宿区議、伊藤陽平氏の記事への対応

質問 雑誌「プレジデント」

誌に「こんな血も涙もない税金の使い方があってもいいのか」「怒りの告発、南伊豆に新しいタイプの姥捨山誕生」という記事が掲載されました。この記事は新宿区議の伊藤陽平氏が投稿したものであります。まさに「エクレシア南伊豆」の建設に対する批判であり、南伊豆町、杉並区の行政に対する批判であります。記事は「もしもこの事業が成功事例かのような捉えられ方をされ、日本全体に広がってしまうのであれば、杉並区民だけでなく、私達

日本人の倫理観が問われる」と結んでいます。すでに建設が進行しているこの時期になぜこんな記事を世に広めなければならないのか、南伊豆町民として容認できるものではありません。町長はこの記事を読んでどんな感想をおもちになつたのか。

地方創生室長 記事の内容は正しく厳正なる取材によるものである。という回答でした。

質問 町長は正しいといわれて、それで終りなのか。

町長 正しいというは向側の言い分です。当町の職員の発言が正しくもない表現でされているということは誤解をまねかないよう杉並区にも電話で伝えました。杉並区の方も歪曲しているということで理解をしているという言葉をいただきました。私としても誤解を招くあまり正しくない記事という判断です。

質問 町長はこの記事が今



町長 5月30日杉並区長とお会いしていろいろとお話をいたしました。このことについて区長は来年のオーブンにあわせて利用者の皆

様の要望が多数あり、なつかつ事業が断続して健全経営されることが最大の反論であるというお話をされました。私も同感であり運営の成功に関しては最大限努力すると答えました。そういう意味でも各方面の御協力をお願いいたします。



渡邊嘉郎 議員

清掃センター整備

質問 1市2町での清掃センターの整備については、何年から始まつて、地元住民の説明会の内容はどういう形でやつたのか。

町長 1市2町による「ごみ処理の広域化について」首長の合意が得られ、その後、3月に南伊豆町清掃センターの所在地である湊区の役員会で、4月には町道日野田牛線の沿線の地権者を対象に、事前説明会を開催した。清掃センターの老朽化から建て替えが必要なこと、ごみ処理の広域化であることとを説明。

生活環境課長 平成25年から南伊豆、下田、松崎、西伊豆を含めた1市3町で勉強会を開催。27年に焼却場を包括委託した業者から財政負荷のかからない整備方法があるということで、現在進んでいる状況。

質問 私への情報は、住民説明会の中で、迷惑施設として、今度は250万も300万も払うからとか。住民説明会にあつた資料は、我々の手元にないものが使われている。前の町長が1市2町の首長会議あるいは

地域整備課長 全員協議会の中で南伊豆町につくると書いてあつた。建てるものは現在8時間稼働を、24時間稼働にする。交通量増は、下田市は、田牛から迂回方法も考えられると話した。やはり先に議会に情報を提出すべきだったということは認識している。申しわけございませんでした。

町長 広域で整備することは必要なことだと思うが、南伊豆町でそれを全部受け取るべきと思う。原点に戻って、いいのかどうかということも含めて再検討をして協議をしたい。私も議員時代に感じましたけれども、資料提供、情報提供はしっかりやっていきたい。

町長 本年度地域総合整備財団が助成する地域再生マネージャー事業の準備に取り組んでいる。杉並区の地域大学と連携した事業も取り組み、9月ごろプレ講座の開催を予定。本年度から段階的に看護師宿舎等のリノベーション及びサテライトオフィス整備に着手。津波浸水域は、懸念される問題。何らかの対処が見込まれる。サービスつき高齢者住宅が本当にいいのかどうかもんでいかなければならぬ。

地方創生室長 津波浸水域とわかつた上での計画。地域住民の安心・安全を守れるような避難施設、避難道、津波避難タワーなどで

下田市に行って、南伊豆町につくらせていただきたいという話をしたのはそのとおりか。議会で議決をしたか。経費削減、広域化は大賛成だが、南伊豆町にくる話は原点に戻して、この整備を進めていただきたいと思うが、町長どう思います。

質問 CCRCC事業構想の病院跡地が津波浸水域で、果たして居住空間が、向いているのか適地なのか。医療器具がまだまだ埋まっている話も聞いている。

CCRC事業



質問 温泉大学構想に今のみなと湯の移動の意見もあるが考慮されているのか。

地方創生室長 南伊豆温泉大学構想の温泉施設整備はあくまでも生涯活躍の推進協議会の中間まとめで今後の検討内容。

対応したい。



加 畑 毅 議員

前町政時代から続く業務や 大型事業の今後の方向性

質問 今回の一般質問では

ともに矛盾を感じている。
(以後、次の内容に続く)

新町長の考え方を聞きたいので、答弁は全て新町長にお願いしたい。質問テーマは「前町政時代から続く業務や大型事業の今後の方向性」という内容。私は今回の町長選挙に大きな矛盾を感じている。前町長時代にほんどの案件に賛成表明していた岡部議員が、町長選挙の対立候補として出馬したこと 자체が矛盾であり、前町政を批判して様々な事業を見直すと印刷物には表記しておきながら、前町政から続いている大型事業のほとんどの中継続するこ

※石廊崎再開発の今後の方
向性を質問、答弁があつた。

※ゴミ焼却場建設の今後の方
向性を質問、答弁があつた。

※CCR事業の今後の方
向性を質問、答弁があつた。

町長 前町長の「いつでもどこでもミニ集会」は議員時代から理解をしていてます
が、この集会に参加した町民の方から伺った中には、「集会はやつたけれどもあれでは意味ないよ」という方も実際におりました。私は選挙戦で「町民ファースト」を掲げておりますので、住民の意見を聞くことは続けていきたいです。そのためには、前町長のように、休日や夜間も関係なく、要望があればそこに行つて

「いつでもどこでもミニ集会」を開催している。私も商工会青年部として出たことがあり、他のグループとしても参加したことがあるが、その時の前町長の印象は町民の意見を聞かないという印象ではない。選挙中、なぜ前町長が町民の意見を聞かないと主張したのかを聞いたかったのだが、今回所信表明の中には「前町長と同じように町民の意見を吸い上げながら」という文があつた。矛盾している。選挙戦の時の主張と考えが変わったのか。

皆さんのお見を聞き、その内容を議員の皆様とか、担当の職員やいろんな関係者と協議して、その内容を町に知つてもらいたいと思います。議員時代には前町政の事業にいろいろと賛成をしておきながら、対立候補として選挙に出馬したことに納得できない部分があるかもしれません、100%全てを賛成していたわけではなく、地熱事業に対する不安が私にはありました。町民を上から押さえつけるのではなく、町民と同じ立

場に立つて、同じ目線でまちづくりをしていくというところが、前町長の進め方に対する私の考え方との違います。ですから、私が町長に就任したからといって今までの事業を全部廃止することは基本的にはありません。悪く言えば、ちょっと優柔不断なところがあるのかもしれませんけれども、皆さんでつくり上げていくこの南伊豆町といふことを念頭に置いて、町長選挙に出馬するという気持ちになりました。





清水清一議員

地熱資源開発と下賀茂温泉

質問 地熱資源開発は今現
在どのような状況か。

町長 地域の住民、町のため
めになるのかどうか、もう少し
時間をかけてしっかりと確認し
たい。

質問 これまでの申請の中
で地元の区長の同意が、町
議会の12月定例会では要ら
ない、それが1月の県審議
では必要だった。県の言う
ことと町の対応の仕方が大
分違った、との私の解釈で
よろしいのか。

企画課長 今、県庁と町と
老朽化した供給管等を再整
備していくか、100本以上存
在する源泉の統合管理の時
期に来ているのではないか。
よりよい方策があればと考
えている。

町長 宿泊観光客の20万人
の4分の3程度は弓ヶ浜に
ある宿泊施設が受け皿となっ
ている。もし仮に弓ヶ浜への
温泉供給がストップしてしま
った場合、町の基幹産業である
観光業への打撃は

質問 地熱開発については
言えないこともあるという
ことを解釈いたしました。
下賀茂温泉活用で発展さ
せる考えは。

質問 湊地区への温泉給湯
について、温泉大学との関
連をどう考えているのか。

はかり知れません。いかに
老朽化した供給管等を再整
備していくか、100本以上存
在する源泉の統合管理の時
期に来ているのではないか。
よりよい方策があればと考
えている。

町長 景観条例制定の中で
空き地を含めた荒廃地問題
を検討中、もう少し景観の
ほうで協議を進めたい。
6次産業で、農林水産業に
携わっている方がアイデア
を出し、継続して事業がで
きるように、いろいろな意
味で支援していきたい。

生活環境整備

質問 空き地、空き家対策
等の適正管理に関する条例
制定の考えは。

町長 農林水産物直売所等
により、生産、販売及び消
費の地産地消が確立されつ
つある。新規就業者の受け
入れ及び人材育成の支援、

農林水産業 発展施策

質問 水田等を耕作したほ
うが生活環境、景色的、集
落的に大変良いのでは。

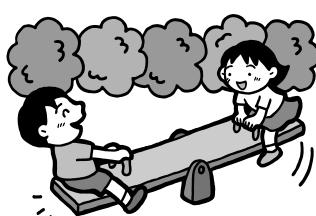
質問 「ごみ焼却場の維持管
理等に関する考え方、対策は。
生活環境課長 今の施設を
更新して1市2町のごみ処
理を計画、大体70～80トン
炉で24時間稼働を行えばダ
イオキシン対策にもなる。

質問 「ごみ焼却場の維持管
理等に関する考え方、対策は。
生活環境課長 今年度、遊具1基を
設置。今後要望等出ました
ら、隨時検討したい。

町長 昨年度、遊具1基を
設置。今後要望等出ました
ら、随时検討したい。

町長 景観条例制定の中で
空き地を含めた荒廃地問題
を入れ、振興を図りたい。
6次産業で、農林水産業に
携わっている方がアイデア
を出し、継続して事業がで
きないように、いろいろな意
味で支援していきたい。

教育、 子育て支援



質問 「こども園の休日開放には至っていない。
現在、要綱等を整備中。

質問 ふるさと公園に遊具
を、遊び場として使つたら。
「こども園の休日開放の効
果、どうなつているのか。

利子補給などの支援も視野
に入れ、振興を図りたい。
6次産業で、農林水産業に
携わっている方がアイデア
を出し、継続して事業がで
きないように、いろいろな意
味で支援していきたい。

未来を担う子ども達

第34回横浜港カッターレース大会出場 (南伊豆ドルフィンズ)

横浜港カッターレース大会は毎年5月下旬に横浜市山下公園前面水域において開催されます。

大会は一般の部、女子の部、シニアの部、小学生特別レースの部に分かれており、今年も町内の小学5年生有志6人が大会に参加し、昨年に引き続き見事準優勝しました。

この大会には、子浦にある南伊豆臨海学園との御縁もあり、平成21年度から旧三浜小学校が「三浜ドルフィンズ」として出場したことからはじまりましたが、旧三浜小と南中小の統合の関係で、平成25年度の優勝を最後に出場していませんでした。

しかし、昨年から、本町になじみの深いマリンスポーツを通じて、仲間と励まし合うとともに、郷土を愛する気持ちを育むことを目的とし、「強豪三浜ドルフィンズ」の伝統を引き継ぎ、「南伊豆ドルフィンズ」として参加しました。

南伊豆臨海学園職員の杉原監督の指導のもと、放課後や土曜日などに子浦漁港内にて練習を行い、少ない練習量の中「1 2 それっ！」と大きな掛け声を出し頑張りました。

結果は、4分10秒で優勝チームと11秒差で惜しくも準優勝でしたが、子どもたちは、練習・本番を通じて素晴らしい絆を結ぶことができ、この経験の中で仲間を大事にする気持ちが大きくなつたこと思います。



学校給食試食会

日 時：平成29年5月18日(木) 12:00～13:00 南中小会議室

本年4月1日から学校給食の調理業務が民間委託されました。委託するにあたり、「給食の味（おいしさが保てるか）」という意見もあることから、試食会を開催しました。試食を前に、水口栄養教諭から給食メニューの説明を受けました。試食後には、子ども達へのアレルギー対応や調理場作業についてなど意見交換を行いました。その後、学校内を巡回し、子ども達の学校生活を見学させていただきました。今後も試食会を開催し、美味しさの確認だけではなく、様々な角度から子ども達の給食がより良くなるよう注視していきたい。



※当日の給食：丸型パン、コロッケ、ほうれん草ソテー、野菜スープ、牛乳

議会一口メモ

委員会制度の意義

社会経済の進展に対応して、行政が著しく多様化し、専門化してくると、本会議のみでは多数の議案を能率的に処理する事や議員がそのすべてに通じる事が困難となる。委員会制度は、このような欠陥を補完して、審議の実を擧げるため工夫されたもので、それぞれ専門部門別に審査を分担するものです。

普通地方公共団体の議会は、条例で常任委員会、議

会運営委員会及び特別委員会を置くことが出来るところ、常任委員会は、その部門に属する町村の事務に関する調査を行い、議案、請願等を審査する。

議会運営委員会は、議会の運営を円滑、効率的に進めるための委員会であり、委員が任期中存在する常設の機関である。

特別委員会は、特定の事件に限って設置される臨時的な機関であつて、その事件の審査なり調査が終了すれば消滅するものであります。

「議員必携より抜粋」
(比野下)



に指定されている手石の阿弥陀窟入口真正に鎮座している。近くには上人ゆかりのゆうてんと名付けられた磯も存在する。今般、「祐天上人300年縁起記念事業」の一環とし、祐天寺から品川区の天然記念物である「ゆうてんさくら」の苗木が贈られてきた。町内の公共施設に植樹出来ればまちづくりの一助と考える。

獅子王丸
(谷)